

令和5年7月14日  
道路局 国道・技術課

## 道路行政ニーズを実現するためFS研究・短期研究を2件採択します

○新道路技術会議において、道路行政ニーズを実現するためFS(フージビリティスタディ)研究・短期研究として2件採択することとしましたのでお知らせします。

○引き続き、令和5年度のFS研究・短期研究を、継続して募集しています。

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合し、道路政策の質を一層向上させるため、平成16年10月より新道路技術会議(委員長:朝倉 康夫 東京工業大学教授)を設置しています。

令和4年度から道路行政ニーズを実現するためFS研究・短期研究を立ち上げ、通年募集し年間4回、合計10件程度を採択することとしています。

今回、5月末までに応募のあった3件について新道路技術会議において審議し、別紙の2件を採択することとしました。

※FS研究：本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの

短期研究：短期的に実施可能な小規模な研究開発

<応募の審査時期>

応募	審査	採択
3月～5月	6月	2件(今回)
6月～8月	9月	—
9月～11月	12月	—
12月～2月	3月	—

<応募要領等>

- FS研究・短期研究 募集要領及び提案様式

(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/shinki/koubo.html>) 国交省HP

- 道路行政ニーズ

(<https://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>) 国交省HP

<問い合わせ先>

国土交通省道路局 国道・技術課 舟波、森(内線 37862、37855)

(代表) 03-5253-8111 (直通) 03-5253-8498

## &lt;ソフト分野&gt;

FS/短期	道路行政ニーズ	研究テーマ名	提案概要	研究代表者名
短期	道路の多様なストック効果計測及び3便益重視の事業評価制度改善のための手法検討	空石積み道路擁壁の公共事業における発注方法および価値づけについての技術研究開発	現在、空石積みは設計基準がないため公共事業で使いにくい状況にある。地域の個性となり、かつ持続可能な工法である空石積みを使用するため、先進的なフランス、イタリアにおいて発注の仕組みやその背景にある考え方を調査、整理し、発注制度をとりまく様々な要素を体系化して理解する。	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 真田 純子

## &lt;ハード分野&gt;

FS/短期	道路行政ニーズ	研究テーマ名	提案概要	研究代表者名
FS	・トンネルの本体工の状態把握技術 ・道路構造物の材料の劣化を簡単に把握できる技術開発	打音・衝撃波同時計測インフラ検査技術の研究開発	操作性に優れたローラーを介した間接打撃による打音検査とともにローラーに内蔵の圧電センサによる衝撃弾性波検査を同時計測できる簡便で低コストな新規提案の高精度打音検査装置を開発し、本格研究へ進むための基盤を構築する。	東北大学 未来科学技術共同研究センター 特任准教授 大橋 雄二

# 技術研究開発の分類

分類	本格研究	FS研究	短期研究
概要	道路行政の現場のニーズや実用化に向けた成果イメージ等を踏まえ、道路政策の質の向上への貢献が期待できる研究を支援		
		本格研究の実施に向けた実行可能性調査として実施するもの	短期的に実施可能な小規模な研究開発
研究規模	500万円程度から最大5,000万円/年	最大300万円/年	
研究期間	最大3年間程度	最大1年間程度	1年間程度/回 (同じテーマで連続 2回まで申請可能)
募集・採択	年1回募集し毎年3月頃に採択を決定 年間5件程度の採択を想定	通年随時募集し年間4回採択を決定 年間10件程度の採択を想定	